



2016年度活動方針より・・・「2016年度総代会議案」ダイジェスト

バター6,000トン追加輸入。28年度輸入計1万3,000トンに。
毎年慢性的にバター不足？

今年は鈴木牧場の原乳を
分けて頂いて
みんなで 家庭での



バターづくりに
チャレンジしてみませんか！

年末までに各地区で手作りバター講習会開催しましょう！
やがて鈴木牧場さんにバターつくってもらえたらいいですね！

生産者・メーカーさんを囲んで商品のこだわり・使い方講座 2016 商品部始動です

藤井養蜂場 三浦さんによる

①「はちみつ勉強会」開催のお知らせ

はちみつは体に良いって聞けれど、「効能は？」「使い方は？」「市販との違いは？」など気になることはありません。常総生協のはちみつ屋さん「藤井養蜂場」の三浦さんに聞いてみましょう。

はちみつを使った簡単料理、お菓子作りも行います。
お子さん連れの参加もちろんOK。お友達を誘っての参加も大歓迎です！ぜひご参加ください。



日時：6月30日(木)

★午前・午後と2会場での開催です。

(午前の部)

時間：9時30分～11時30分

場所：取手ウエルネスプラザ 2階クッキングスタジオ

(取手市新町2-5-25) 取手駅西口から徒歩3分

※無料駐車場は台数が少ないので、公共交通機関のご利用をおすすめします

(午後の部)

時間：14時～16時

場所：常総生協本部 2階調理室

(守谷市本町281) 守谷駅から徒歩7分

講習内容：日本の養蜂の現状(ミツバチ不足、農薬汚染など)について、花別はちみつの特徴、はちみつを使った料理講習(手作りキャラメル、小学いも、はちみつ味噌さんびら他)

参加費：大人300円(子供は無料)

持ち物：エプロン、三角巾、マイ箸、筆記用具

定員：各会場20名※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

申込み：参加申込書を提出いただくか、電話でお申込み下さい。

ユニオンソース・ナガノトマトによる

2016.6.8 常総生協商品部

②「トマト学習会」開催のお知らせ

生協の取り組みアイテムである、ナガノトマトの「信州生まれのおいしいトマトジュース」「国産つぶ野菜入りケチャップ」ユニオンソースの「あらかし完熟ケチャップ」について、もっと組合員の皆さんに知ってほしいという話から、今回生協担当をそれぞれからお招きして、商品の説明と、試食試飲をし、さらにはケチャップを使った料理レシピの実演を行い、商品のこだわりをぜひ実感していただければと思い企画しました。お友達も誘って、ぜひご参加ください。

ユニオンソース

栃木県日光市に工場があります。
ソースやケチャップ、マヨネーズなどの調味料を製造販売しています。

●3つのこだわり

①生の野菜を丸ごとそのまま使ってソースを作ります。②香辛料は製造の直前に挽き風味を生かします。③日光の天然水を使っています。

ナガノトマト

長野県松本市に本社工場があります。
トマト製品や、なめ茸製品、ジュース等の製造販売をしています。
ナガノトマトのブランド品種『愛果(まなか)』を契約生産者に栽培を委託し、計画的に生産しています。それを使って作ったのがナガノトマトのトマトジュースやケチャップです。

日時：7月1日(金)

時間：10時00分～12時30分

場所：常総生協本部 2階調理室

(守谷市本町281) 守谷駅から徒歩7分

講習内容：トマトジュース・トマトケチャップの試食試飲、市販品との比較検討
ケチャップを使ったレシピ紹介「ミートソース」

参加費：大人300円(子供は無料)

持ち物：エプロン、三角巾、マイ箸、筆記用具

定員：20名※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

申込み：参加申込書を提出いただくか、電話でお申込み下さい。



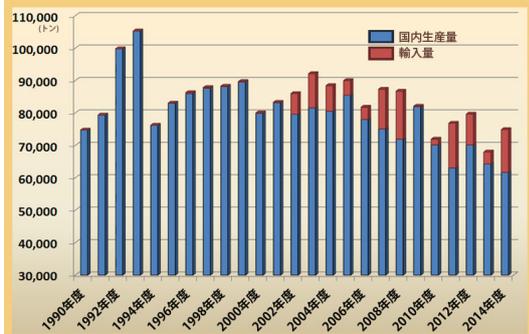
参加申込は、カタログにセットされている案内チラシにて

健康で経済的くらしを地域の生産者と共に (1) 【鈴木牧場】

今年もまたバター不足？ 今年国産バターの生産量は6万トンを切りそうです。

生協も毎年バターの確保に奔走するのか……

バターの国内生産量と輸入量の推移



「酪農家の減少に歯止めがかからない」「生乳生産量は大きく減少」……

バターやチーズ、脱脂粉乳は10年のうちにはほぼ全量が外国産となると言われています。



私たち常総生協には 地元の優秀な酪農家、鈴木牧場があります。「健康な牛は健康な土から」と土作りを実践した良質な原乳があり、すでにヨーグルト工房・チーズ工房が誕生しました。

それでも2004年のヨーグルト工房誕生までには、「鈴木さんの牛乳が飲みたい」と4年間組合員が牧場に通り、交流した積み重ねがあります。



そして昨年、この酪農経営・加工生産を息子さん夫婦が継いでくれることになりました！



せっかくの最高品質の原乳がある……

まずは家庭で手作りのバターができないか……。鈴木さんの原乳を分けてもらえないか……。やがて鈴木牧場バター工房ができないだろうか……。鈴木さんに相談に行きました。



「家族、若夫婦ともよく相談しながら研究し、実験してみようか……」(鈴木さん)

今年は手始めに、鈴木さんに原乳(ノホモ・パス殺菌)を分けて頂いて、組合員みんなで手作りにチャレンジしてみませんか！

原乳の上に浮いた生クリームをペットボトルに入れて振ってフレッシュバターの手作りから……。子どもたちもみんなで楽しみながら。

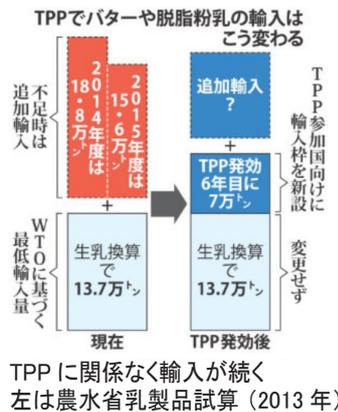
まずは1リットルの原乳から何グラムのバターができるのか(100gのバターを作るのに牛乳が何リットルが必要か)、塩分はどのくらいが良いか、上に浮いた脂肪を取った残りの低脂肪乳も飲んでみる、市販のバターと鈴木さんの原乳で作ったバターの風味の違いは歴然……。

まず消費者として知り、体験することを今年からはじめてみましょう。

バターの製造をお願いするにはいろいろな相談をしなければなりません。施設・設備、風味

を生かせるバターチェーンの選定、その設備資金はどうするか、生産を維持できる価格は、低脂肪乳の処理、販売はできるのか・・・などなど。

新しい理事会、そして総代さんを中心に話し合いや検討を重ねて、時間をかけながら、みんなで知恵と力を寄せ、生産者との協同ですすめてゆきましょう。



(6)牛乳乳製品

関税率(TQ、国貨品目)
例) 飲用乳 21.3%+114円
バター 29.8%+985円/ト

考え方(シナリオ)

- バター、脱脂粉乳、チーズ等の乳製品は、内外価格差が大きく(バター、脱脂粉乳では約3倍)、品質格差もほとんどないため、国産のほぼ全量が外国産に置き換わる。
- 輸入乳製品の急増により行き場を失った北海道の乳製品向け生乳が都府県の飲用向けに供給され、都府県の生乳生産はプレミアム牛乳向けを除いて減滅。

○健康で経済的くらしを地域の生産者と共に (2) 【岩瀬牧場】 豚肉利用結集に向けて

- 1) 生協で購入した種豚(原種)で健康で丈夫な母豚づくり。
- 2) 母豚を運動させ母胎の健康を維持するための広い放牧エリア確保(農地借用)と放牧再開。
- 3) 牧場経営の経営基盤を確保するために、年間1000頭出荷体制3カ年計画に向けて母豚を60頭まで増やします(現在年間出荷600頭、母豚48頭)。
- 4) (生協利用年間頭数) 現在生協向け年間出荷頭数260頭を2016年度は300頭に伸ばすために、利用推進キャンペーンの企画。仲間づくりにも安心・おいしい豚肉のおすすめをします。



組合員による催し案内 6/26 原発と軍事

山崎久隆講演会パート7

原発と軍事

「平和利用」されていた福島第一原発の事故は、膨大な放射能を大気、海に、大地にまき散らしました。住民に甚大な被害をもたらしています。ひとびとの基本的人権を奪っています。原発は、放射能を作り続けます。燃やし終わった燃料を再処理すれば、原爆の材料となるプルトニウムの生産も可能といわれています。「原子力の平和利用」のもと、何が進められているのでしょうか。

事故を起こしたらとにかえしのつかない事態をもたらす原発、核兵器の原料を製造する原発、そんな原発を全て廃炉にすることを、一緒に考えてみませんか。

たくさんのご来場をお待ちしております。

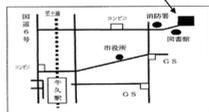


《講師 プロフィール》
「劣化ウラン研究会」代表、原子力と環境問題に取り組み「たんぼほ舎」副代表。
1980年代より、核兵器と原子力開発に反対する運動に参加。
原子力の構造などの科学的な分野から、原子力発電の歴史、原子力発電に関する懸念、内部被ばく、除染、瓦礫問題など、幅広く知識をお持ちの方です。
著書:『放射能兵器・劣化ウラン』(技術と人間)、『原発事故から身を守る』(第一書林)、『原発の地産防衛はどうなっているか』(たんぼほ舎)、『世界は変えられる!』、『冬の兵士』岩瀬書店。
最新著書:『福島原発多量放射 東電の責任を問う 被害者の救済は汚染者負担の原則で』 徳田 敦 山崎久隆 原田将史 日本評論社、『核時代の神話と虚像』原子力の平和利用と軍事利用をめぐる戦後史 第10巻=劣化ウランの兵器開発がもたらすものを執筆 など

日時: **6月26日** (日) 14:00~16:00 13:30 開場 費用: 資料代 300円

会場: 牛久市中央生涯学習センター 大講座室

主催: 原発いらぬ牛久の会
賛同: 環境学習同好会・常総生活協同組合
協賛: 脱原発ネットワーク茨城
連絡先: 森川 080-3953-4653
藤田 090-5193-5218



6/16 東海第二原発差止訴訟 第14回期日

【日時】 2016年6月16日(木) 14:30~

【場所】 水戸地方裁判所301号法廷

【原告側主張】 子どもの健康と甲状腺がん

第14回弁論期日では常総生協の組合員でもある坂田弁護士さんが原発事故がもたらした子どもたちの人権の状況、健康状況、不安について証拠説明し、原発の差し止めを訴えます。

- 1) 国連人権理事会グローバル特別勧告が指摘する 福島の子どもの人権状況
- 2) 福島の子どもの甲状腺がんが多発していること
- 3) 子どもたちの健康影響の不安と葛藤
- 4) 避難者を中心にした福島県民の深刻な精神ストレスや不安

その他、高浜原発の運転停止命令を下した大津地裁判決についての主張、2011年東日本大震災時に原子炉水位などのプラントデータが把握できていなかった点についての求釈明などが行われます。

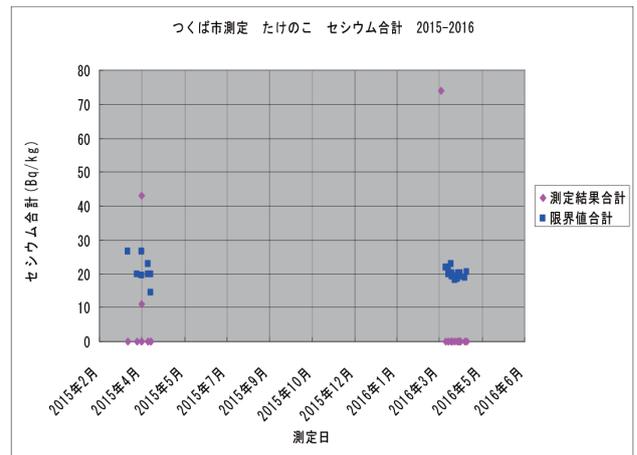
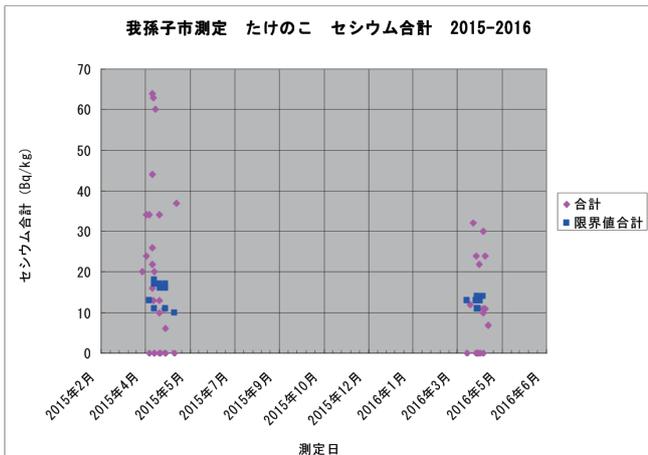
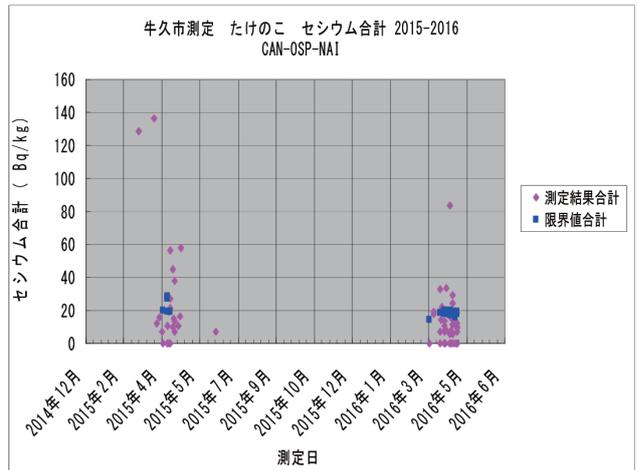
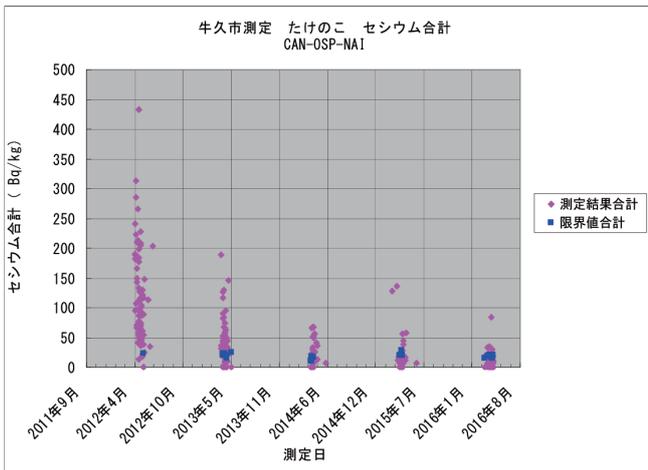
2016年6月1日(水) 常総生協本部組合員室 10時～13時 12人参加。

チーム活動報告

○ 市町村のセシウム測定データ収集

・ ケノコの出荷停止解除の申請が出されている自治体もあるようですので、最近の測定値をお伝えします。

(左上) 牛久市 2011-2016、(右上) 牛久市 2015-2016、(左下) 我孫子市 2015-2016、(右下) つくば市 2015-2016



- ① **DVD 貸出** 皆さんにお薦めで、生協に寄付していただけるDVDをお持ちの方はお申し出ください。
- ② **土壌の測定結果比較** これから今年度の活動の打ち合わせを行います。
- ③ **児玉先生の著作** 2014年1月に生協で開催した先生の講演会録が完成しました。1冊500円(税込み)です。

★次回の委員会は**7/1(金) 13:30～16:30(生協本部)**の予定です。自由参加です。ぜひおいで下さい。

放射能汚染から
生命と健康を守るために
講師：こがね医師 児玉 順一先生
—公開学習会「日本からの手紙」講演録—
2014年1月16日 常総生協本部にて
制作 常総生活協同組合 脱原発と暮らし見直し委員会

児玉先生講演録 『放射能から生命と健康を守るために』 完成!

税込500円

申込は注文
書意見欄に
「児玉先生講
演録」とご記
入下さい。

児玉医師による常総生協での講演録を脱原発委員会チームが編集しました。図面もいっぱい。とてもわかりやすくなっています。「核の時代」に生きる私たちの必見書。